



消防千葉

2014 No.527 平成26年4・5月号

平成 26 年 5 月 1 日 編集兼発行人
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL 043 (263) 9885
郵便番号 260-0801 (定価 50 円)
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp



證誠寺の「狸ばやし童謡記念碑」木更津市（君津支部）

巻 頭 言

千葉県防災危機管理部長 遠山 誠一

消防職員、消防団員の皆様には、火災や風水害などの様々な災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守るため、昼夜を問わず献身的な御尽力をいただいておりますことに深く敬意と感謝の意を表します。

さて、昨年度、本県では竜巻、台風、大雪などで大きな被害を受けました。

今年度も、4月にチリで発生した大地震により津波注意報が発令されるなど、災害はいつ発生するかわかりません。

こうした地震や津波などの大規模災害発生時の被害を最小化するためには、一人ひとりの県民が災害から自らを守る「自助」、近隣住民が協力しながら地域を守る「共助」、県や市町村等による「公助」が一体となって防災対策に取り組むことが必要です。

県民の皆様には防災意識を高めていただくことはもちろん、災害の発生や避難について迅速かつ確実な情報伝達、地域防災力の主力である常備消防、消防団の充実・強化は大変重要であると考えています。

そのため、県といたしましても、昨年10月に策定いたしました総合計画「新輝け！ちば元気プラン」において、「自助・共助・公助が連携した防災先進県づくり」を重点的な施策・取組の1つとして掲げるとともに、防災に関する基本理念と県民、事業者などの各主体が取り組むべき基本的な事項を定め、本県の地域防災力のより一層の向上を図る「千葉県防災基本条例」を制定し、県民一人ひとり及び地域コミュニティの防災意識の高揚や防災力の強化を図っているところです。

常備消防は、災害時における消火・救助活動などの中心的存在であり、また、消防団は「要員動員力、即時対応力、地域密着性」を有する地域防災の要です。

常備消防、消防団の充実・強化につきましては、各市町村において様々に御尽力いただいているところですが、県といたしましても、消防職員・消防団員の育成のため、県消防学校につきまして、消火・救助・救急などの訓練機能を大幅に強化して移転改築するとともに、自主防災組織等の研修・訓練を行う防災研修センターと併せて整備することとしております。

また、今年度、「企業・学生消防隊と連携した消防団活性化事業」を実施し、企業や大学との意見交換会などを通じ、企業経営者に従業員の消防団活動への積極的な参加を促すよう働きかけるなど、消防団への理解を深め、入団の促進と活性化を図ってまいります。

県といたしましても、「自助」「共助」「公助」が連携した防災先進県づくりを全力で進めてまいりますので、消防関係の皆様方におかれましても、引き続き、地域住民の安全・安心を守るため、一層の御尽力をお願い申し上げます。

結びに、消防防災体制の強化、消防行政のより円滑な推進のため、御指導御協力を賜りますようお願いするとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、就任の御挨拶とさせていただきます。



平成25年度 千葉県消防協会定時理事会・臨時評議員会の開催

平成 26 年度事業計画・収支予算等を議決

平成26年3月25日(火)午後3時30分から千葉県消防協会定時理事会が千葉市内で開催されました。

石橋 毅会長の挨拶の後、平成26年度事業計画・収支予算、資産運用規程の制定など7議案について審議が行われ、全議案について理事会の議決を得、3月26日(水)午前11時からの臨時評議員会で全議案とも原案どおり承認及び決議されました。

また、議決された議案等並びに平成 26 年度千葉県消防協会事業計画、主要行事予定等は次の通りです。

◆ 議 案

- 議案第1号：平成25年度(公財)千葉県消防協会収支補正予算について
- 議案第2号：平成26年度(公財)千葉県消防協会事業計画について
- 議案第3号：平成26年度(公財)千葉県消防協会収支予算について
- 議案第4号：平成26年度(公財)千葉県消防協会の資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類について
- 議案第5号：(公財)千葉県消防協会資産運用規程の制定について
- 議案第6号：(公財)千葉県消防協会財務規程の一部改正について
- 議案第7号：(公財)千葉県消防協会職員給与規程の一部改正について



定時理事会



臨時評議員会

◆ その他・報告事項

- 平成26年度(公財)千葉県消防協会の主要行事予定について
- 第24回全国消防操法大会について平成26年11月8日(土)
- 第20回全国女性消防団員活性化ちば大会について平成26年11月14日(金)～15日(土)

平成26年度(公財)千葉県消防協会事業計画

事業実施方針

近年の消防を取り巻く環境は、地震・集中豪雨等の自然災害が多数発生しており、予測し難い災害・事故の発生が危惧されるとともに、東日本大震災以来、大規模な地震発生の切迫性などが指摘されております。

このようなことから、消防防災の中核を担う常備消防及び消防団においては、時代に対応した総合的な消防防災対策の充実強化により、災害及び事故等の防止とともに安心・安全を確保し地域社会の健全な発展に資する必要があります。

また、昨年末に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立・施行され、地域防災力の強化を目指して、消防団の充実強化のための取り組みが行われます。

また、県でも昨年末に「千葉県防災基本条例」を制定し、防災に関して県民や事業者・自主防災組織・県・市町村などの役割が具体的に定められました。

このため消防協会としては、県民への防災や消防の重要性等に関する普及啓発の推進とともに消防職・団員の消防防災能力の向上と士気高揚のための事業などの公益目的事業、福利厚生並びに弔慰救済等の相互扶助事業等を実施します。

I 公益目的事業

1. 防災思想普及事業

予算額 44,355 千円

災害等から生命、身体及び財産を守り被害を最小限に食い止めるため、各家庭・企業を問わず県民一人ひとりが常日頃から災害に対する関心と適切な活動（出火防止初期消火、応急救護等）を身につけられるよう知識と技術の普及啓発、防災訓練の充実、防火組織の活動促進等を図る。

- (1) 西部防災センターにおいて、記録映画等の上映、風・大雨・地震・避難・消火器使用の体験、こども向け防災読本の配布、消防・防災フェスティバル等を行う。
また、中央防災センターでは、起震車・図書・ビデオの貸出し等を行う。
- (2) 機関誌「消防千葉」を発行し消防防災活動への理解、協力を図る。
- (3) 千葉県と協力して春秋2回の全国火災予防運動及び九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練を実施する。
- (4) 火災予防思想の高揚を目指す千葉県少年婦人防火委員会及び地域の自主防災組織である婦人防火クラブ、幼年・少年消防クラブの活動を支援する。
- (5) 第20回全国女性消防団員活性化ちば大会を「女性の力で地域を守る～ちばから全国へ地域防災の輪を広げよう～」をテーマに、本年11月に浦安市舞浜において開催する。

2. 教育訓練事業

予算額 23,140 千円

消防・防災能力の拡充のため、消防職・団員による基礎的・専門的な知識・技能の向上、消防操法に関する普及、訓練成果の発表並びに消防関係機関の協力・連携等を図る。

- (1) 消防団幹部の養成のため、消防団員指導員研修を実施するとともに日本消防協会主催の各種研修会へ参加を促進する。
また千葉県消防学校、千葉市消防学校及び消防大学校並びに日本消防協会への修学奨励のため、所定の課程を終了又は卒業した者に対し修学奨励金等を贈与する。
- (2) 消防操法技術の一層の向上のため、10支部の消防操法大会(支部事業)で最優秀となった各支部代表チームによる千葉県消防操法大会を県と共に開催する。
- (3) 日本消防協会主催の全国消防操法大会に出場する千葉県代表チームに助成する。

- (4) 災害応急対策の準備、連携状況等について検証し、防災対策の充実と防災意識の高揚を図るため、第35回九都県市合同防災訓練千葉県会場訓練を県と共に開催する。
- (5) 消防関係機関との協働、連絡調整、意見交換等のため、会議の開催等をする。
 - ア. 県下市町村消防長・消防団長会議の開催
 - イ. 支部常務理事・事務主任者会議の開催
 - ウ. 日本消防協会・関東甲信地区消防協会等の各種会議への参加

3. 弔慰救済事業

予算額 1,300 千円

郷土防災の使命を果たしその職に殉じられた御霊を慰め、併せて防災思想の普及等を図るため、消防殉職者慰霊祭を実施する。

4. 報償事業

予算額 1,250 千円

消防士気の高揚等を図るため、消防防災に功労・功績のあったものに対し、特別功労章、永年勤続功労章、功績章等の表彰を千葉県消防大会、消防出初式において行う。

5. 支部活動事業

予算額 17,240 千円

- (1) 消防知識の一層の普及、消火技術の向上のために地域活動として支部消防操法大会を各地区で実施して県消防操法大会への出場チームを選抜する。
- (2) 消防活動への表彰と、士気高揚のために消防出初式等において優秀な団員に対して支部長表彰を行う。
- (3) 地域での研修や春・秋の火災予防運動において消防防災知識の普及を図る。

II 相互扶助事業（その他の事業）

1. 福祉共済制度への加入促進等事業

予算額 1,800 千円

- (1) 消防職・団員の公務以外の災害や疾病に対する保障を兼ねた相互扶助の増進等のため、日本消防協会が実施している福祉共済及び消防個人年金等及び全日本消防人共済会が実施している火災共済制度への加入を促進する。
- (2) 消防団員の健康管理等に資するため、健康増進機器等の交付及びスポーツ大会等の経費の一部を助成する。

2. 弔慰見舞事業

予算額 700 千円

職務遂行において死亡・障害者となった者などに対し、その崇高な活動に報いるため弔慰見舞金等を贈る。

3. 退職者報償事業

予算額 2,500 千円

退職会員で在職中の功績が特に顕著な者に対し、その功労に報いるため感謝状及び金盃を贈る。

III 収益事業

1. 施設貸与事業

予算額 7,848 千円

消防会館の空き室を消防関係団体等（3団体）に有償貸与する。

2. 千葉県消防会館建設改良

予算額 1,000 千円

千葉県消防会館は、建設以来40年を経過しているため、計画的に修繕を実施する。

平成26年度(公財)千葉県消防協会主要行事予定

| | 行 事 名 | 日 時 | 場 所 |
|----|----------------------|-------------------|-------------|
| 1 | 支部常務理事・事務主任者会議 | 4月9日(水) | プラザ菜の花 |
| 2 | 婦人クラブ連絡協議会役員会 | 5月22日(木) | プラザ菜の花 |
| 3 | 消防協会監事会 | 5月23日(金) | 消防協会会議室 |
| 4 | 少年婦人防火委員会役員会 | 5月23日(金) | プラザ菜の花 |
| 5 | 定時理事会 | 5月28日(水) | ポートプラザ千葉 |
| 6 | 臨時・定時評議員会 | 5月28日(水)、29日(木) | ポートプラザ千葉 |
| 7 | 消防長・消防団長会議 | 7月3日(木)～4日(金) | 鴨川ホテル三日月 |
| 8 | 第50回千葉県消防操法大会 | 7月26日(土)【予備 8月2日】 | 千葉県消防学校 |
| 9 | 第35回九都県市合同防災訓練・千葉県会場 | 9月6日(土) | 南房総市 |
| 10 | 第33回全国消防殉職者慰霊祭 | 9月11日(木) | ニッショウホール |
| 11 | 第50回消防殉職者慰霊祭 | 10月23日(木) | 消防学校慰霊碑前 |
| 12 | 消防職・団員定例表彰審査会 | 10月23日(木) | 消防協会会議室 |
| 13 | 第24回全国消防操法大会 | 11月8日(土) | 東京臨海広域防災公園 |
| 14 | 第20回全国女性消防団員活性化ちば大会 | 11月14日(金) | 浦安市 |
| 15 | 消防団員指導員研修 | 11月29日(土)～30日(日) | 千葉県消防学校 |
| 16 | 臨時理事会 | 12月 | 千葉市内 |
| 17 | 婦人防火研修会 | 27年1月 | 千葉県消防学校 |
| 18 | 第67回日本消防協会定例表彰式 | 27年3月10日 | ニッショウホール |
| 19 | 第65回千葉県消防大会 | 27年3月18日(水) | 青葉の森芸術文化ホール |
| 20 | 定時理事会 | 27年3月 | 千葉市内 |
| 21 | 臨時評議員会 | 27年3月 | 千葉市内 |

千葉県防災危機管理部の年間主要行事

(1) 第50回千葉県消防操法大会

日 時：平成26年7月26日(土)〔予備日 8月2日(土)〕

場 所：千葉県消防学校(千葉市中央区仁戸名町)

主 催：千葉県、(公財)千葉県消防協会

(2) 石油コンビナート等防災訓練(総合訓練)

日 時：平成26年8月22日(金)

場 所：JX日鉱日石エネルギー(株)市川油槽所及び周辺海域

(3) 九都県市合同防災訓練(千葉県会場訓練)

日 時：平成26年9月6日(土)

場 所：南房総市和田町南三原地先

(4) 第65回千葉県消防大会

日 時：平成27年3月18日(水)

場 所：青葉の森公園芸術文化ホール

第66回日本消防協会定例表彰式



平成26年2月28日（水）、「第66回日本消防協会定例表彰式」が日本消防会館ニッショーホールで全国各地の消防団員、消防職員、消防協会関係者等の参加により執り行われました。

永年にわたる顕著な功績が認められ、特別表彰「まとい」10団を初め、特別功労章10名、優良消防団（表彰旗）42団、（竿頭綬）91団、功績章963名、精績章2,283名、勤続章7,012名、優良婦人消防隊（表彰旗）12隊、優良婦人消防隊員（功績章）18名、消防協会等役職員永年勤続者表彰10名の表彰が行われました。

本県では、表彰旗1機関（浦安市消防団）、功績章34名、精績章82名、勤続章187名がそれぞれ受章しました。

表彰式の後、日本災害復興学会会長の室崎益輝氏による「消防団と地域防災力」と題する基調講演及び秋本日本消防協会長をコーディネーターとし室田哲男消防庁国民保護・防災部長、山崎 登NHK解説主幹等をパネリストとするパネルディスカッションが行われました。



秋本日本消防協会長の挨拶



勲芳千歳

第64回千葉県消防大会開催

平成26年3月18日(火)、千葉市中央区にある「青葉の森公園芸術文化ホール」において第64回千葉県消防大会が行われました。

この大会は、県下消防職員・団員の士気の高揚と消防防災体制の確立を図るため、千葉県、(公財)千葉県消防協会、千葉県少年婦人防火委員会の主催により、東日本大震災の影響で中止となった23・24年の大会を除き毎年行われているものです。

当日は開会のことばに始まり、国歌斉唱、消防殉職者に対する黙とうに続き、森田千葉県知事、石橋消防協会長の挨拶、消防庁長官や日本消防協会長等の来賓祝辞の後、それぞれの表彰と叙勲や褒章等の受章者の紹介が行われました。

それぞれ受章された方、またご家族の方、誠にありがとうございました。



第64回千葉県消防大会受章者等一覧

| 表彰種別 | 表彰者数 |
|-----------------------------|---|
| 消防庁長官定例表彰 | 功労章 12 名・永年勤続功労章 92 名・竿頭綬 2 団体・防災功労者 1 団体 |
| 千葉県知事表彰 | 特別功労章 15 名、永年勤続功労章 60 名、内助功労 46 名 特別表彰 1 名・1 団体 |
| 日本消防協会長表彰 | 表彰旗 1 機関、功績章 34 名、精績章 82 名、勤続章 187 名 |
| 千葉県消防協会長表彰 | 特別功労章 12 名、永年勤続功労章 189 名、内助功労 156 名 功績章 36 名、表彰状 7 名、特別表彰 3 機関、感謝状 5 名 |
| 千葉県少年婦人防火委員会 委員長表彰 | 優良幼年消防クラブ表彰 1 クラブ、優良婦人消防クラブ表彰 1 クラブ |
| 叙勲・褒章 | 春の叙勲 11 名、秋の叙勲 12 名、第 20 回危険業務従事者叙勲 29 名、 第 21 回危険業務従事者叙勲 30 名、春の褒章 2 名、秋の褒章 2 名、 文化の日千葉県功労者表彰 3 名、総務大臣感謝状 1 団体 |
| 消防団120年・自治体 消防 65 周年記念表彰 | 内閣総理大臣表彰 1 団体、永年勤続功労者表彰 1 名、 消防団員家族表彰 4 家族、日本防火・防災協会長表彰 3 団体 |



消防職員初任科 第157期生卒業

千葉県消防学校

平成26年3月26日(水)、千葉県消防学校の消防職員初任科第157期の卒業式が行われました。

10月の入学から6ヶ月、25所属119名の若々しい消防職員が厳しい研修を終了し、消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの職場に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、開式のことば、国歌斉唱の後、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、最優秀



賞1名、優秀賞11名、努力賞4名の表彰が行われ、酒井千葉県消防学校長の告辞、千葉県知事(代理中岡防災危機管理部長)、千葉県消防協会長(代理芝岸副会長)の祝辞等がありました。

また、前日の25日(火)には、教育訓練の成果を確認するために消防学校屋外訓練場において「実科査閲」が行われ、入場行進、通常点検、小隊訓練、救助基本訓練、機器取扱・救助応用訓練、最後には総合訓練として震災対応救助処置火災防御訓練の実施により、研修で習得した火災防御・救急救助技術を披露しました。

東 西 南 北



東 西 南 北 連携航空救助員の訓練 千葉市消防局

千葉市消防航空隊は、平成26年1月20日(月)から2月5日(水)までの間、連携航空救助員にヘリコプターに関連する知識や、航空救助技術の教育を目的とした連携訓練を実施しました。

この教育を修了した隊員は、現在までに20名で、連携航空救助隊員としてワッペンを付け、災害時はヘリコプターの優れた機動力を生かした活動が行えるよう、日頃から責任と自覚を持ち習熟訓練を重ねています。



東 西 南 北 地域の宝を地域の手で 船橋市消防局

船橋市中央消防署(大野光雄署長)では、平成26年1月28日(火)、船橋大神宮において、文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。

訓練内容は、県指定文化財の灯明台付近において、枯れ草が出火したとの想定により、実践さながらの通報・避難・消火訓練が行われ、訓練終盤には地元消防団及び中央消防署の車両が灯明台の延焼阻止のため一斉放水を行いました。

近隣の小学校4校から約430人の児童も参加しており、一斉放水の際には大きな歓声が上がりました。

訓練終了後、船橋大神宮宮司から「地域の文化財を地域の力で守っていることを近隣住民や地元小学生が知ることができる貴重な機会であり、今後も訓練を継続していただきたい」と話しておりました。



寄贈車両（軽消防自動車）の受納式の開催

東 西
南 北

柏市消防局

平成 26 年 1 月 30 日（木）柏市消防局にて、寄贈車両（軽消防自動車）の受納式が行われました。

この車両は、一般社団法人日本損害保険協会から柏市へ消防団の活動車両として寄贈を受けたもので、同協会が社会貢献事業の一環として、昭和 27 年度から地域における消防力の強化・拡充に貢献することを目的に行われています。今年度は、全国 20 の市町村と 7 つの離島の消防団に対して軽消防自動車



車 27 台寄贈され、千葉県内では唯一柏市が選ばれました。寄贈された軽消防自動車は、機動性に優れた軽デッキバンタイプの 4WD・オートマチック車で、最新鋭の高性能小型動力ポンプ等の装備が搭載されており、災害時に地域で活動する消防団に配備することによって、広範囲な災害支援活動並びに広報活動、さらに平常時には「救命サポート隊」の地域密着型の救命講習推進活動を実施するなど、最大限の活用を図ってまいります。

救命の連鎖で社会復帰

東 西
南 北

船橋市消防局

船橋市中央消防署（大野光雄署長）は、平成 26 年 1 月 30 日（木）、心肺停止の救急事案に貢献した市内居住の東邦大学医療センター佐倉病院看護師 加藤 綾さん、京成電鉄株式会社京成船橋駅助役 川瀬英靖さん、同職員 大木 剛さん及び京成電鉄株式会社京成船橋駅に対しまして、消防協力者感謝状を贈呈しました。

これは、平成 25 年 11 月 27 日（水）船橋市本町 1 丁目船橋フェイェスビル 2 階歩道橋上において、心肺停止状態であった男性に対し、的確な胸骨圧迫及び迅速な通報、また救急隊到着までの間 AED による除細動を実施したことにより意識を取り戻し、その後救急隊に引き継ぎ病院へ搬送したものです。

なお、一ヵ月後男性は社会復帰をはたした事案であり、加藤さんは「心肺停止の傷病者に早い胸骨圧迫はとても有効であると実感した。」と話しておりました。



消防車両安全走行技能大会の実施

東 西
南 北

木更津市消防本部

木更津市消防本部（篠田清隆消防長）では、2 月 6 日・20 日・3 月 6 日の 3 日間、一般財団法人木更津自動車学校教習コースにおいて、消防車両の安全走行技能大会を実施いたしました。

同本部では、消防車両の安全走行技術の向上を目的として、木更津自動車学校の協力により、昨年 10 月から延べ 272 人の職員が延べ 83 台の車両により、機関員の運転技術の向上及び同乗隊員との安全呼称の連携を主眼として、約 50 時間に渡り訓練を重ねました。

大会は、訓練の成果と更なる意識の高揚を図るため実施したもので、本署・分署・出張所から 21 チームが参加し、クランク・狭隘部分・方向転換の含まれたコースで、安全走行と走破タイムを競う方法で行われました。

なお、同本部では今後も同様な走行訓練を継続的に実施いたします。



東 西 北 119番受信障害時勉強会の開催 南 東 柏市消防局

柏市消防局旭町消防署では、平成26年2月7日（金）、当消防局大会議室においてNTT東日本千葉支店から4名の講師をお招きし、「119番受信障害に伴う分散受信勉強会」を参加者73名により開催しました。

この勉強会は、大規模災害等により119番回線が途絶えた場合の市民への影響や指令統制などについて事前に学ぶことにより119番受信障害時、情報をいかに効率よく運用するかを目的に実施しました。そこで、私たちが平素描いていたイメージと実際の違いなど誤認識や課題について学ぶことができ、大変有意義な勉強会となりました。



東 西 北 多数負傷者事故対応訓練」の実施 南 東 流山市消防本部

平成17年4月25日兵庫県尼崎市で発生した、福知山線脱線事故（死者107名・負傷者549名）や平成24年4月29日群馬県藤岡市の関越自動車道高速バス事故（死者7名・負傷者39名）等、多数負傷者発生事故が多発しており、当市においても、つくばエクスプレス等の各路線や常磐自動車道を管轄していることから、何時発生するやも知れぬ大規模災害に対応するため、平成26年2月20日、21日の計2回、流山市文化会館駐車場で、消防、市・医師会、市役所防災危機管理課、健康増進課、市民の健康づくり推進員、東武バスイースト株式会社が参加し、訓練を実施しました。



訓練想定については、路線バスと普通乗用車による交通事故により、25名の負傷者が発生し、救助隊及び消防隊による要救助者の救出活動後、救急救命士により負傷者を程度別を選別するトリアージを実施。医師等による救急処置を行った後に、病院搬送する内容で、多数負傷者発生時における各機関の役割と連携協力要領を実動訓練で検証・確認しました。



東 西 北 火災現場で大活躍 !! 南 東 千葉市消防局

千葉市消防局では、平成26年2月26日（水）千葉市消防団第4分団1部、第4分団3部、第4分団4部、第4分団5部の防衛活動に対して表彰を行いました。

この表彰は、消防局長表彰、消防団長表彰で、昨年12月29日千葉市花見川区花園で発生した建物火災において、的確な状況判断と迅速な消火活動を展開し、被害を最小限にとどめたことに対し表彰状を授与したものです。

分団長は「今回の経験を活かして、さらに訓練を重ね迅速に災害対応できるよう努めたい。」と語っていました。



東 西 管内集合商業施設で「消防フェア」を実施

東 南 北 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

夷隅郡市広域市町村圏事務組合当消防本部では3月1日、全国春の火災予防運動の一環として、管内集合商業施設で「消防フェア」を行いました。

当管内では県内で住宅用火災警報器の設置率が非常に低い



ため「住宅用火災警報器の設置促進」を今年度の重点目標として、警報器の展示や住宅用警報器関係のパンフレット、ポケットティッシュ、トイレトーパー等を配布し住宅用警報器設置の普及に努めました。



また、地震体験車や煙体験ハウスを使用した体験や水消火器を使用した消火体験なども同時に行い、更に地元マスコットキャラクターも参加し、天候不良にもかかわらず多くの住民が家族連れで訪れ、防災意識の高揚を図ることができました。

東 西 「住宅用防災機器設置促進の広報活動」の実施

東 南 北 松戸市消防局

平成26年春季火災予防運動期間中である3月1日に、小金北地区少年消防クラブ、小金北地区女性防火クラブ及び松戸市防火協会大金平支部並びに大金平消防署が合同で、管内大谷口地区のひとり暮らし高齢者宅を訪問し、火災予防の啓発及び住宅用防災機器設置促進活動を実施しました。

さらに、近年大規模災害へのさまざまな備えが叫ばれている中、ひとり暮らし高齢者宅の備えとして、平成23年春季火災予防運動から4ヵ年計画で防災グッズ（非常持出袋及び避難対策セット）を配布し、管内全てのひとり暮らし高齢者宅へ配ることが出来ました。



東 西 幼年消防クラブ員が元気に街頭キャンペーン

東 南 北 松戸市消防局

松戸市東部消防署では、平成26年3月4日東松戸駅前ロータリーにて春季全国火災予防運動の一環として街頭キャンペーンを実施しました。

高塚わかば幼稚園の幼年消防クラブの元気いっぱいの園児が法被や防火衣を着用して、千葉県のマスコットキャラクター「チーバくん」といっしょに市民の方々に、火災予防と住宅用火災警報器の設置促進を呼び掛けていました。



東 西 南 北 プロのリーダーを育てる！「救急隊長研修を実施」 千葉県消防局

千葉県では、平成26年3月11日（火）12日（水）救急活動をマネジメントする「プロとしての救急隊長」を育成するため、救急隊長研修を実施しました。

救急隊の研修と聞くと、とかく医学的な知識・技術の習得を目的としたものを連想されると思いますが、この研修では、救急現場を統括する救急隊長に対する「リーダーシップ能力」、「コミュニケーション能力」の向上を目的としています。講師は、当局の指導救命士をはじめ、市衛生所管部局の担当者の方をお招きし、さまざまな観点から指導やディスカッションを行いました。



東 西 南 北 消防協力者表彰感謝状贈呈式 佐倉市八街市酒々井町消防組合

平成26年3月11日消防協力者表彰感謝状贈呈式が行われました。表彰されたのは管内の事業所で、自社の車両の車内アナウンス、マグネットシートの掲示、電光掲示板を活用して、火災予防運動、住宅用火災警報器及び救急車の適正利用の広報活動に積極的に取り組んでいただいたことに対して表彰されました。



東 西 南 北 消防オリエンテーション「将来の消防を目指す君たちへ」 流山市東消防署

流山市東消防署では、3月22日（土）東消防署内で消防オリエンテーション講座を開催しました。

現在流山市消防本部は178名の職員で、流山市全域の各種災害対応を行っています。定年を迎える職員が年々増えています。

この講座は、地域の安全と安心の役割を担う職員として働くために消防の仕事に興味や関心を持って貰い、職業選択の一つの機会となるように就職活動シーズン前に開催したものです。

ミーティングでは、第一線で働く消防士に仕事の苦労話や遣り甲斐などを聞きながら、参加者の熱心にメモを取る姿が印象的でした。

また、救助隊員によるデモンストレーション後に、参加者による実技や防火服や空気呼吸器を着装して消防士の雰囲気や味を味わって貰うとともに安全確認の大切さも学びました。

さらに、訓練後は参加者との意見交換が行われ、消防のイメージの向上とよき理解者となっていただく事ができました。



日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

5月

- 2日 女性活性化ちば大会第5回運営委員会
(浦安市)
- 22日 千葉県婦人防火クラブ連絡協議会役員会
(千葉市)
- 23日 千葉県消防協会監事会
(千葉市)
- 23日 千葉県少年婦人防火委員会役員会
(千葉市)
- 28日 消防協会臨時評議員会・定時理事会
(千葉市)
- 29日 消防協会定時評議員会
(千葉市)



平成26年 春の全国交通安全運動 4月6日(日)から4月15日(火)

スローガン

～ 事故のない 明るい未来は 君の手で ～

平成 26 年度 全国統一防火標語

「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」

<表紙の説明>

「證誠寺の『狸ばやし童謡記念碑』」木更津市（君津支部）

證誠寺は、江戸時代初期に創建された寺院で、「しよ、しよ、しよじょじ、しよじょじの庭は」のフレーズで始まる童謡「証城寺の狸囃子」のモデルとなったことで知られており、境内には記念碑が建てられています。

毎年10月には、地元の小学生が狸に扮して踊りを披露する「狸まつり」が開催されている他、狸囃子はJR内房線木更津駅の発車メロディに採用されているなど地域にとってなじみ深いものとなっています。

